

(案)

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との面談

2. 日時：令和4年9月21日（水）15：00～16：30

3. 場所：原子力規制庁8階D会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部原子力規制企画課 金城課長、中崎課長補佐

検査グループ核燃料施設等監視部門 熊谷統括監視指導官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド統括本部 本部長代理 他1名

5. 要旨：

○湧き出し核燃料物質や利用実態のない核燃料物質等を集約して管理する仕組みを構築する  
とした場合の課題等について、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機  
構」という。）と意見交換を行った。

○原子力機構からは、自治体への説明責任・費用負担・規制制度、の大きく3点の課題が挙げ  
られる旨説明があった。

○原子力規制庁からは、これらの課題の整理及び解決に向けて、利用推進省庁も含めて議論を  
する必要があるとの認識を伝え、改めて原子力機構とその認識を一にした。

6. 配布資料：

資料 核燃料集約に関する打合せにあたり

以上